

CQ2-2 (サルモネラ) PICO 表、SR 表

SC-4 : PICO 表

SR-1 : 文献検索式

SR-2 : 文献検索フロー

SR-3 : 二次スクリーニング一覧

SR-4 : 引用文献リスト

【SC-4 CQ2-2 (サルモネラ) の設定】

スコープで取り上げた重要臨床課題 (key clinical issues)				
非チフス性サルモネラ菌感染症は小児の細菌性腸炎として、頻度の高いものである。菌血症をきたすことが稀でなく、さまざまな器官に局在性化膿性感染巣をきたし、骨髄炎、関節炎、心外膜炎、腹膜炎などを合併する。急性脳症の合併も報告されている。一方、抗菌薬により排菌期間が長くなるとの考えがあり、軽症患者には抗菌薬適正使用 (AMR) の観点からも使用しない。				
CQの構成要素				
P (Patients, Problem, Population)				
性別	指定なし			
年齢	<input type="checkbox"/> 指定なし・ ( 18歳未満 )			
疾患・病態	感染性胃腸炎で便または血液から非チフス性サルモネラ属が検出			
地理的要件	医療体制が確立した地域			
その他	特になし			
I (Interventions)		C (Comparisons, Controls, Comparators)		
抗菌薬投与		抗菌薬非投与		
O (Outcomes) のリスト				
	Outcomeの内容	益か害か	重要度	採用可否
O <sub>1</sub>	死亡の予防	益	9 点	○
O <sub>2</sub>	入院の予防	益	8 点	○
O <sub>3</sub>	濃厚接触者への感染伝播	害	6 点	×
O <sub>4</sub>	罹病期間短縮	益	7 点	○
O <sub>5</sub>	耐性菌保菌	害	4 点	○
O <sub>6</sub>	神経学的合併症の予防	益	7 点	○
O <sub>7</sub>	有害事象	害	6 点	○
作成したCQ				
小児の非チフス性サルモネラ属感染症の重症化予防及び罹病期間短縮・神経学的合併症の予防を目的とした抗菌薬投与は推奨されるか？				

【SR-1 データベース検索結果】

タイトル：	
CQ：	小児の非チフス性サルモネラ属感染症の重症化予防及び罹病期間短縮・神経学的合併症の予防を目的とした抗菌薬投与は推奨されるか？
データベース：	Pubmed
日付：	2022/12/6
検索者：	石毛

#	検索式	文献数
#1	gastroenteritis[MeSH Terms]	243131
#2	"child"[Filter]	1876616
#3	"salmonella infections"[MeSH Terms]	37126
#4	anti-bacterial agents[MeSH Terms]	434427
#5	#1 and #2 and #3 and #4	120

【SR-1 データベース検索結果】

タイトル：	
CQ：	小児の非チフス性サルモネラ属感染症の重症化予防及び罹病期間短縮・神経学的合併症の予防を目的とした抗菌薬投与は推奨されるか？
データベース：	Cochrane Database
日付：	2022/12/6
検索者：	石毛

#	検索式	文献数
#1	MeSH descriptor: [Salmonella Infections] explode all	352
#2	MeSH descriptor: [Child] explode all trees	61999
#3	MeSH descriptor: [Infant] explode all trees	35185
#4	MeSH descriptor: [Anti-Bacterial Agents] explode all tre	13127
#5	#2 or #3	81667
#6	#1 and #4 and #5	32

【SR-1 データベース検索結果】

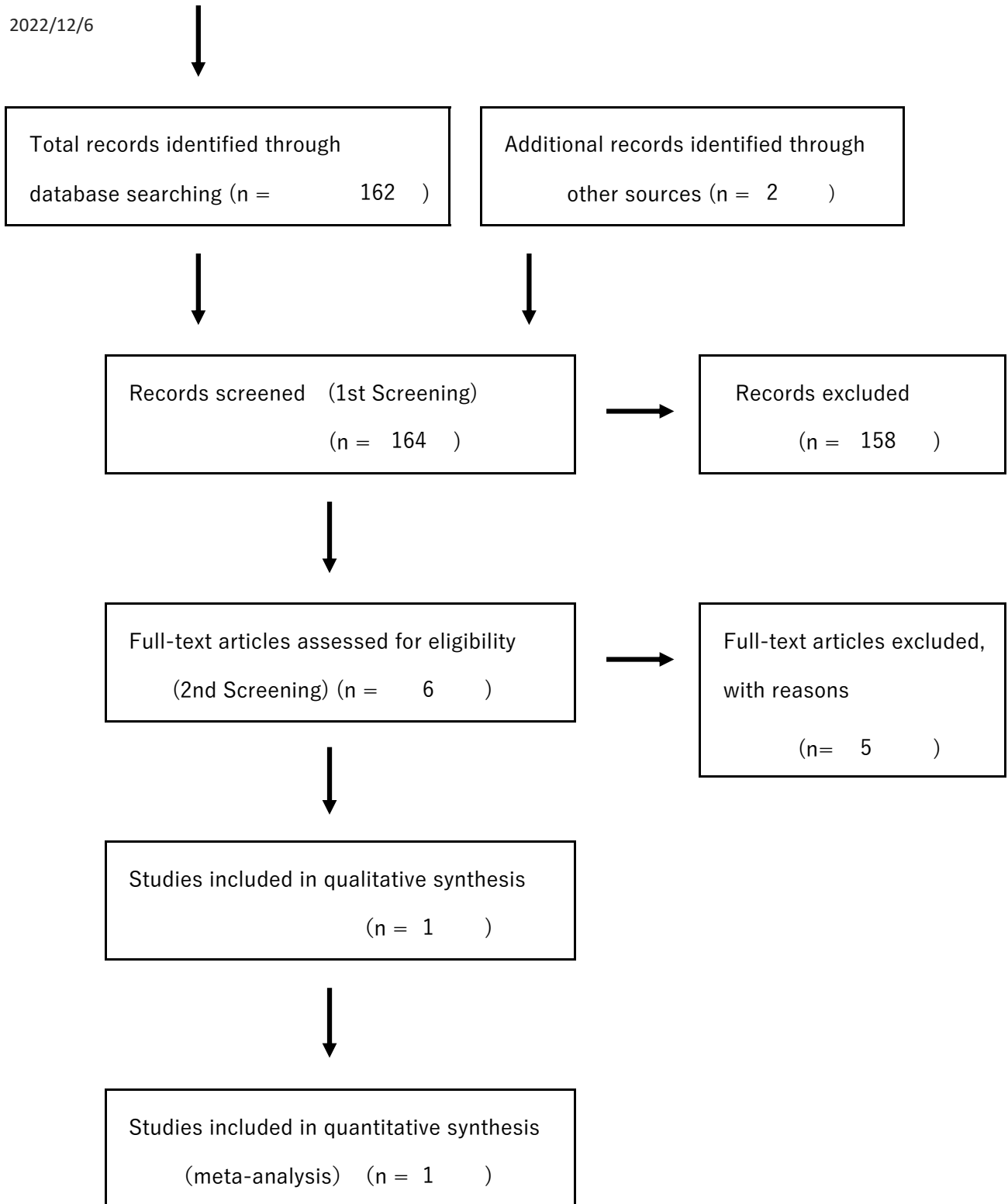
タイトル：	
CQ：	小児の非チフス性サルモネラ属感染症の重症化予防及び罹病期間短縮・神経学的合併症の予防を目的とした抗菌薬投与は推奨されるか？
データベース：	医学中央雑誌
日付：	2022/12/6
検索者：	石毛

#	検索式	文献数
#1	[サルモネラ感染症]/TH	5932
#2	[小児]/TH	110192
#3	抗細菌剤/TH	188622
#4	#1 and #2 and #3	10

【SR-2 文献検索フローチャート】

PubMed	CENTRAL	医中誌	Embase	PsycINFO®	CINAHL	Others( Cochrane )
120		10				32

2022/12/6



【SR-3 二次スクリーニング後の一覧表】

文献	研究デザイン	P	I	C	O	除外	コメント
Barbara 2000	後ろ向き観察研究	イタリヤ、サルモネラ集団胃腸炎患者 (小児1684人、成人86人)	抗菌薬投与	抗菌薬不使用	下痢持続期間、保菌期間	除外	ランダム化なし、重症度にばらつきあり
Huang 2004	前向き観察研究	台湾、サルモネラ胃腸炎小児311例	抗菌薬投与	抗菌薬不使用	発熱期間、入院期間	除外	ランダム化なし、重症度にばらつきあり
Lin 2003	前向き症例対照研究	台湾、便培養にてサルモネラを検出した小児入院例77人	重症と診断した症例	非重症例	発熱期間、臨床検査値	除外	重症例への抗菌薬投与を検討
Onwuezobe 2012	SR	症候性の非チフス性サルモネラ感染症の生後6週以上の小児を含む患者(培養で証明された患者)	抗菌薬投与	抗菌薬不使用もしくはプラセボ投与	2-4病日の下痢、下痢及び発熱の持続期間、治療失敗	採用	成人も含むが対象例の多くが小児
Tsai 2011	後ろ向き観察研究	台湾、便培養にてサルモネラを検出した小児入院例683人	抗菌薬投与	抗菌薬不使用	入院期間、発熱期間、有害事象	除外	重症例に限定、ランダム化なし
山中 1996	後ろ向き観察研究	日本、サルモネラ集団食中毒小児患者39人	抗菌薬投与	抗菌薬不使用	発熱期間、下痢期間、腹痛期間、除菌期間	除外	ランダム化なし、多くの症例で抗菌薬投与

## 【SR-4 引用文献リスト】

	文献ID	書誌情報
採用論文	Onwuezobe 2012	Cochrane Database Syst Rev. 2012 Nov;11(11):CD001167.

	文献ID	書誌情報
不採用論文	Barbara 2000	Aliment Pharmacol Ther. 2000 Sep; 14(9):1127-31.
	Huang 2004	J Pediatr Gastroenterol Nutr. 2004 May;38(5):518-23.
	Lin 2003	Acta Paediatr. 2003 May;92(5):537-40.
	Tsai 2011	Clin Microbiol Infect. 2011 Feb;17(2):300-5.
	山中 1996	小児感染免疫 11 (4), 358-362, 1999-12-01